百十四銀行ミニディスクロージャー誌

平成28年9月中間期 第148期 営業の中間ご報告

平成28年4月1日~平成28年9月30日

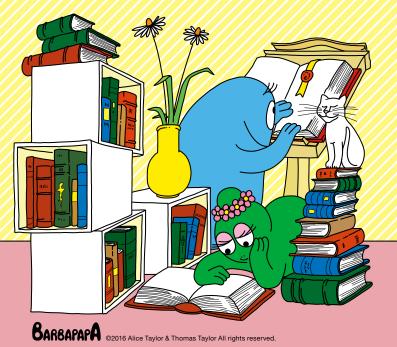
地方創生 まち込つながるひというながる



海外に関することは おまかせください!

114の社会貢献活動







114BANK mini Disclosure

ごあいさつ



取締役頭取渡邊智樹

平素より百十四銀行をご利用、お引き立ていただき、まことにありがとうございます。

この度、皆さま方の当行に対するご理解が一層深まりますよう。「平成28年9月期ミニ ディスクロージャー誌・第148期営業の中間ご報告 |を作成いたしました。ご高覧いただ ければ幸いに存じます。

さて、当期のわが国経済は、中国をはじめとする新興国経済の減速を背景に、企業の 輸出や生産動向に弱い動きがみられたものの、個人消費は雇用・所得環境の改善を 背景に底堅い動きとなり、景気は緩やかな回復基調となりました。

一方、日本銀行による「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」の導入により、現下 の低金利環境が当面の間継続することが明らかとなり、地域金融機関を取り巻く厳しい 環境は相当期間長期化することが懸念されております。

このような状況の中、中期経営計画の最終年度を迎えた今年度は、基本戦略である 「リテール取引の徹底推進」、「市場運用力の強化」、及び「組織力・人材力の強化」を 着実に実行し、各種目標の達成に向けてつとめております。また、お客さまとの対話を深 め、金融仲介機能とコンサルティング機能を一層発揮し、地域経済の改善を力強く後押 しすることで、地方創生・地域活性化に積極的かつ継続的に取り組んでいるところでござ います。

あわせて、皆さまから揺るぎないご信頼をいただけますよう、環境保全や社会貢献など のCSR活動、及びコンプライアンスや顧客保護にかかる内部管理態勢の一層の充実 に、当行グループの総力を挙げて取り組んでまいります。

今後とも、地域の皆さま、株主の皆さまのご期待にお応えできますよう、役職員一同全 力で取り組んでまいります。引き続き一層のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申しあげ ます。

PROFILE

(平成28年9月30日現在)

本店所在地 香川県高松市亀井町5番地の1 発行済株式総数 310.076千株 業 明治11年11月1日 数 2,396人 総 資 産 4兆7.417億円 124店舗 (本支店103、出張所21) 総 預 金 4兆1,574億円(譲渡性預金を含む) 店 海外駐在員事務所 2 (ト海・シンガポール) 貸 出 金 2兆7.407億円 資 本 金 373億円 **店舗外ATMコーナー** 173カ所 219台

※本冊子に掲載されている計数は原則として単位未満を切り捨てのうえ表示しております。

CONTENTS

| ごあいさつ ······ 1 |
|---------------------|
| 経営理念・中期経営計画2 |
| 地方創生 |
| 海外に関することはおまかせください 5 |
| 114の社会貢献活動 7 |
| 業績ハイライト 9 |
| 経営の健全性について 11 |
| 株式情報12 |
| 財務データ 13 |

経営理念

- 1お客さま・地域社会との共存共栄をめざします。
- 2 活気ある企業風土の醸成をめざします。
- 3 健全性の確保と企業価値の創造をめざします。

中期経営計画

計画期間: 平成26年4月から平成29年3月まで(3年間)

ベスト・パートナーズ・プラン

計画全体の体系図

目指すべき姿 地域とお客さまの未来に貢献する金融サービス集団

I. リテール取引の徹底推進

お客さまそれぞれのパートナー

法人営業戦略

- •コンサルティング営業の深化
- 地域戦略の明確化

個人営業戦略

- リレーションの拡大
- ●ライフプランニング機能の強化

お客さま接点の拡大 営業の質的向上

Ⅱ. 市場運用力の強化

分散投資による ポートフォリオ運営

積極的なリスクテイク

最適ポートフォリオの構築

機動運用の活発化

チャネル・プロセス変革

リスクモニタリング

人材育成

Ⅲ. 組織力・人材力の強化

人材力の強化

事務プロセス改革

IT戦略

リスク管理

コンプライアンス

行動指針 お客さまファーストの徹底

お客さまのことを第一に考え、お客さまが心から満足する価値を積極的に提供することを行動指針として、「リテール取引の徹底推進」「市場運用力の強化」「組織力・人材力の強化」に取り組み、地域とお客さまの未来に貢献することをめざします。



地方創生



平成28年11月11日、四国創生に向けて 地銀4行は包括提携を締結しました。

「四国アライアンス」



四国創生に向けた地方銀行4行による包括提携

地域の魅力を高め、地域・お客さまと 4行が持続的に成長・発展

興す

活かす

繋げる

育む

協働する

4行が独立経営のもと、健全な競争関係を維持しつつ、4行 それぞれの強みやノウハウを結集し、四国創生に向けた5つ のテーマに取り組む

★ 何波無行 = 百十四銀行 = 日子銀行

各地方公共団体が策定した地方版総合戦略が、 本格的な実行段階に移り、今後金融機関の果た すべき役割はますます重要になります。当行は、 「産官学金労言」と更なる連携の強化をはかり、創 意工夫した施策を展開することで、人口減少問題 の克服・地域活性化に取り組んでまいります。

地域とつながる

かがわ活性化ファンド組成

香川県内の中小企業の再生支援と地域経済活性化及 び雇用維持に向けた取り組みの一環として、官民一体 型の「かがわ活性化ファンド投資事業有限責任組合」を 組成しました。地域の経済活力や雇用について大きな役 割を果たす県内中小企業の中長期的な経営支援に官・ 民・地域が一体となって取り組みます。

地域の主要産業の振興支援



日本政策金融公庫高松支店農林水産事 業と連携して、オリーブ事業に参入する企 業等に対する支援窓口を設置しました。

香川県が策定する「かがわオリーブ産業

強化戦略」の目標達成に向け、ワンストップサービスの窓 口となり、外部機関と連携してオリーブ事業に参入する企 業のサポートや様々な問題解決に取り組みます。

また、香川県の地域資源である「希小糖」を地域の産業 に育てるため、各種PRや、希少糖を活用した新商品開 発に取り組む企業を応援しています。

まちょつながる

包括連携協定の 締結

相互の人的·知的資源を活用し、地域社会の産業振興と持続的発展を目的に、各市町との包括連携協定の締結を進めています。平成28年9月末現在で、ほぼ香川県全域の地方公共団体と包括連携協定を締結しています。







さぬきアカデミーの開催

香川県の良さを知り、郷土愛をはぐくむことを目的に、公益社団法人香川県観光協会、わがかがわ観光推進協議会と共同で、多様な角度から香川県の素晴らしさについて学ぶ講座を開催しています。講座では、香川県の食文化から建築史まで、それぞれの分野に精通した講師陣の講義により、さらに深く香川県について知ることができます。



ひととつながる

「瀬戸内モニターガールズ」 による地域活性化支援

香川県と連携して「瀬戸内モニターガールズ」を結成し、 モニタリング研修会を通じて女性目線で発掘した地域の 魅力の情報発信を行っています。



第8弾 さぬき市モニタリング 研修会のようす (平成28年6月実施)

研修内容

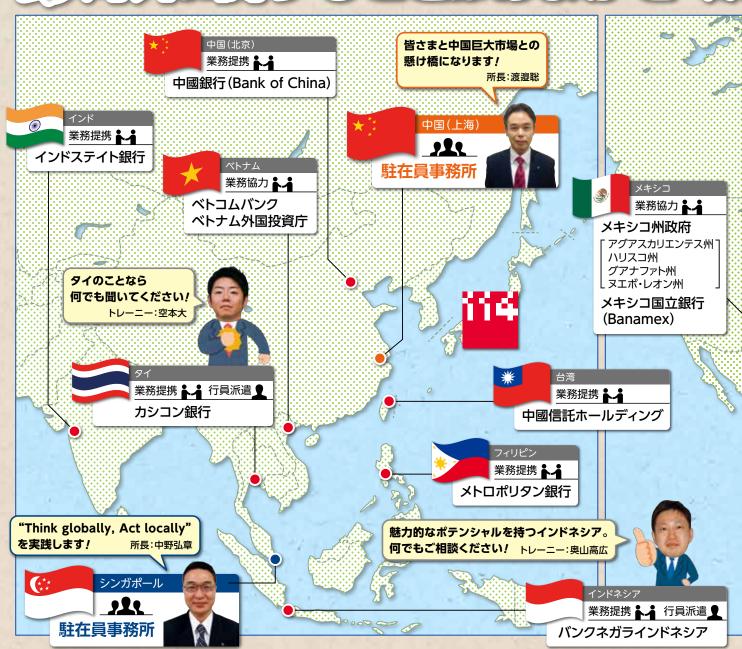
- ■こだわりのシューズづくりについて 会社・商品見学
- 希少糖のもとになるプシコースのパウ ダーを利用した商品開発の考案
- 農園で桃やトマトについて学ぶ など



婚活デスクの設置

地域の人口減少・少子化・事業承継の問題解決に積極的に関与するべく、「婚活デスク」を新たに設置いたしました。各地方公共団体企画の婚活支援活動に積極的に協力するほか、婚活イベントの開催など、婚活支援を通じて、香川県等の地方公共団体や企業との連携を一層強化し、人口減少問題克服への積極的な取り組みを実施してまいります。

多海外に関することはおまかせくた



ざさい!

課題解決をサポート!!

- 海外と取引のあるお客さまの貿易決済(送金・LC取引など)、為替リスクヘッジなどをサポートします。
- 旬なトピックスをテーマとするセミナーの開催を通じて、海外ビジネスに役立つ情報を提供します。

インターネットから始める海外市場開拓セミナー

世界最大級のBtoBマーケットプレイス提供会社であるアリババグループから講師を招き、インターネットを 活用した海外市場の開拓方法について、事例をもとに説明しました。

ハラル・ビジネスセミナー

「ハラル・ビジネス」を四国のインバウンド観光戦略のひとつとするべく、イスラム教のハラルに関する基礎 知識とハスリハ観光客の受け入れ体制の整備等について、食品産業を事例に説明しました。



現地取引をサポート!!

- 業務提携先の海外金融機関を活用し、現地での□座開設・金融取引をサポートします。
- クロスボーダーローンやスタンドバイLC発行、政府系金融機関との協調融 資により、現地法人の資金調達をサポートします。
- 商談会や交流会の開催により、現地での販路・調達先拡大をサポートします。

FBC上海2016ものづくり商談会

毎年、中国上海市で開催される中国最大規模の商談会を開催しています。 Mfairバンコク2016ものづくり商談会

タイでの部材調達・委託先の開拓、販路拡大を目的とする製造業特化型の商談会を開催しています。

ビジネス交流会(ベトナム、中国)

「基幹システム共同化」参加行(百十四銀行、常陽銀行、十六銀行、南都銀行、山口フィナンシャルグループ) が、それぞれのお客さまを招待し、広く情報交換・交流を図るイベントを開催しています。15年度はベトナム のハノイ・ホーチミンで1回ずつ、16年度は中国・青島でそれぞれ実施しました。

2016年3月、前年に引き続き、池田泉州銀行、滋賀銀行、南都銀行、百五銀行と合同で上海・蘇州近郊に進 出しているお客さまを対象に、中国ビジネス展開に役立つ情報提供とビジネス交流を図る機会を提供し ました。



安心をサポート!!

豊富な海外ネットワークでお客さまの海外ビジネスをサポートします!

安全対策

綜合警備保障株式会社 セコム株式会社

NTTコミュニケーションズ 株式会社

日本通運株式会社

国際協力銀行

リスクマネジメント 大手損害保険会社4社

現地での資金調達だけでなく、 あらゆる面からサポートします。

対外取引(輸出など)リスク 独立行政法人日本貿易保険

外国人技能実習生・研修生の受け入れ 公益財団法人国際研修協力機構(JITCO)



FBC上海2016ものづくり商談会

海外進出コンサルティング

コンサルティング株式会社 株式会社東京コンサルティング

株式会社フォーバル

三菱UFJリサーチ&

ファーム



地域貢献

「瀬戸内国際芸術祭」を応援

瀬戸内の島々を舞台に3年に一度開催される 現代アートの祭典「瀬戸内国際芸術祭」を当行 グループを挙げて応援しています。

作品受付ボランティア

企業ボランティアサポーターとして、会期中に作品受付ボランティアを派遣しています。 2016年は、延べ355名派遣しました。

ふれあい周遊

児童養護施設の子どもたちを招待し、ボランティア参加した行員がペアとなって会期中の女木島・男木島を巡るイベントを開催しました。





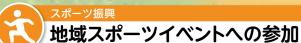
金融教育

夏休み親子教室

銀行の役割のほか、紙幣の偽造防止技術について学ぶほか、銀行内の見学を行うなど、楽しみながら金融について学んでいただくイベントを開催しています。

体験内容をご紹介

- お札のひみつ
- ●銀行内見学
- 本物の1億円や金塊の重さを体験



地域のスポーツイベントに選手として参加するだけでなく、100名以上の行員がボランティアスタッフとして各大会をサポートしています。





エコノミクス甲子園

高校生の皆さんが楽しみながら 金融知力を身につけられるよう、 毎年、全国高校生金融経済クイ ズ選手権「エコノミクス甲子園 香川大会」を開催しています。











大会内容をご紹介

- 第1ラウンド 筆記クイズ
- 第2ラウンド早押しクイズ
- 決勝ラウンド

勝チームは 全国大会(東京)へ!!

香川県と 観光PRブースを出店

香川県内の各エリアに 関連するクイズを出題 成績優秀者には 県産品をプレゼント



フォレストマッチング協働の森づくり

香川県などと「百十四の森」フォレストマッチング協定を締結し、 森林保全活動に取り組んでおります。平成27年10月には、53名 の行員とその家族が丸亀市綾歌町の山林で、樹木の密度を調節 して森の生育を助けるための除間伐・枝打ち作業を行いました。





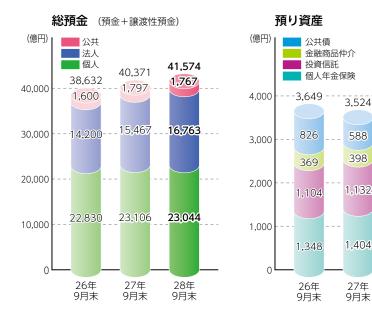
業績ハイライト

▮総預金・貸出金等の残高推移

総預金

当中間期末の総預金残高は、個人及び公共預金は減少しましたが、法人預金が増加したことにより、前年同期末比1,203億22百万円増加して、4兆1,574億94百万円となりました。

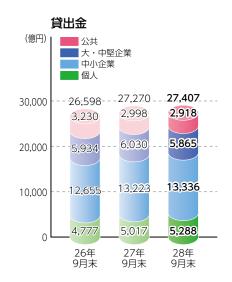
また、預り資産残高は、公共債は減少しましたが、投資信託、個人年金保険、金融商品仲介の増加により、前年同期末比19億65百万円増加し、3.543億83百万円となりました。

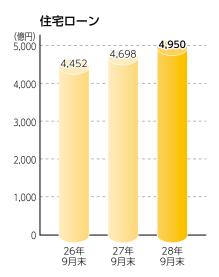


貸出金

当中間期末の貸出金残高は、大・中堅企業向け及び公共向け貸出金が減少しましたが、中小企業・個人向け貸出金が増加したことにより、前年同期末比137億62百万円増加して2兆7.407億91百万円となりました。

また、住宅ローンを積極的に取り組んでまいりました結果、当中間期末の住宅ローンの残高は、前年同期末比252億31百万円増加し、4,950億45百万円となりました。





3,543

436

463

1,189

1,455

28年

9月末

■業績の推移

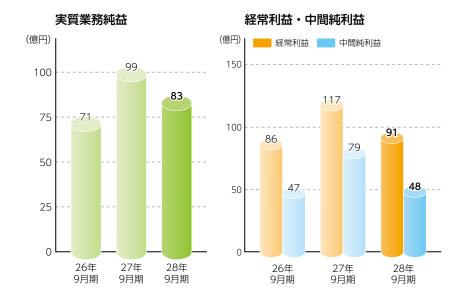
実質業務純益は、資金利益の減少などにより、前年同期比16億2百万円減少して83億97百万円となりました。

経常利益は、実質業務純益の減少及び有価証券関係損益の減少などにより、前年同期比26億15百万円減少して91億49百万円となりました。

また、中間純利益は、前年同期比31 億78百万円減少して48億15百万円 となりました。

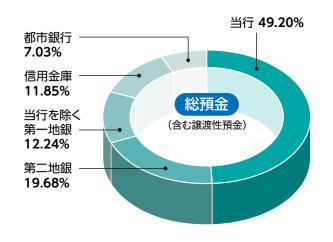
*実質業務純益とは

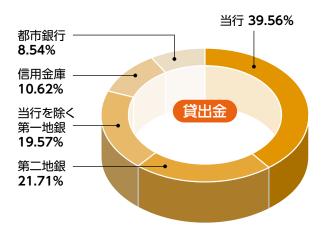
実質業務純益 = 業務粗利益(資金利益 + 受取手数料 + 債券関係損益など) - 経費



■香川県内シェア

(平成28年9月30日現在)





経営の健全性について

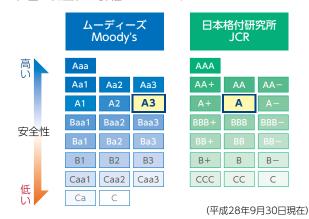
■連結自己資本比率の推移

平成26年3月末より適用された自己資本比率規制 (バーゼルII、国内基準) に基づく当行の連結自己資本比率は、平成28年9月末現在で9.54%となっており、引き続き十分な水準を確保しております。



▮格付

当行は、ムーディーズ社 (Moody's) から長期信用格付について [A3] を、日本格付研究所 (JCR) から長期信用発行体格付について [A] の格付を取得し、国内外の格付機関から経営の健全性が評価されています。



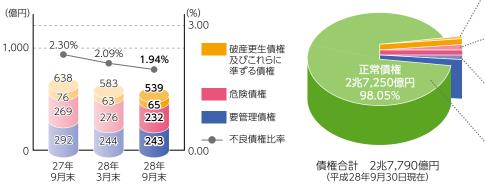
■金融再生法開示債権の状況

当中間期末の金融再生法開示債権ベースの不良債権残高は、前期末比44億17百万円減少し、539億26百万円となりました。また、債権合計に占める不良債権比率は、前期末比0.15ポイント低下して1.94%となりました。

* 金融再生法開示債権とは

金融再生法に基づき、与信額(貸出金・外国為替・支払承諾 見返・未収利息・仮払金〈貸出金に準ずるもの〉及び銀行保 証付私募債)を対象とし債務者単位で区分しております。

金融再生法開示債権の推移と対応状況(金額単位未満:四捨五入)



·* 破産更生債権及びこれらに準ずる債権 破産手続開始の申立て等の事由により経営

破産手続開始の申立で等の事由により経営 破綻した債務者への債権及びこれらに準ず る債権をいいます。

* 危険債権

経営は破綻していないが経営悪化等により、 今後経営破綻となる可能性の高い債権を いいます。

·* 要管理債権

3カ月以上延滞している貸出金と債務者の経営再建又は支援を図るために金利減免や元金返済猶予等を実施した貸出金の合計をいいます。(要管理債権は個別貸出金単位)

* 正常債権

上記「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」「危険債権」及び「要管理債権」以外の債権をいいます。

株式情報

■株式のご案内

事業年度

毎年4月1日から翌年3月31日までといたします。

▶ 定時株主総会

毎年6月に開催いたします。

配当金のお支払

期末配当金 3月31日現在の株主に対しお支払いいたします。 中間配当金 中間配当を行う場合は、9月30日現在の株主に対したもます。

なお、配当金のお受け取りには、お近くの当行本支店の預金口座への振込みをご指定いただきますと便利です。

▶ 基準日

定時株主総会については、毎年3月31日といたします。 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。

▶ 株式事務取扱場所

株主名簿管理人 特別□座の□座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所

大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

各種お問合せ

(郵 便 物 送 付 先) 〒541-8502

大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社

大阪証券代行部

(ご 照 会 先) 0120-094-777(通話料無料) (ホームページアドレス) http://www.tr.mufg.jp/daikou/

〈株式に関する各種お手続き〉

届出住所・姓名などの変更、配当金の振込先の指定または変更、単元未満株式の買取請求及び買増請求などについては、口座開設されている証券会社等(証券会社等に口座開設されていない株主さまは、上記の三菱UFJ信託銀行株式会社)へお届出ください。

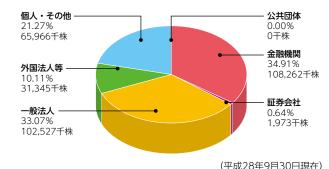
▶ 公告掲載方法

日本経済新聞に掲載いたします。

■株式の状況

▶ 発行済株式の総数:310,076千株▶ 株 主 数: 10,810名

▶所有者別株式数



■株主優待制度

株主の皆さまの日頃からのご支援に感謝するとともに、当行株式 への投資魅力を高め、より多くの皆さまに当行株式を長期間保有し ていただくために、株主優待制度を導入しました。

▶ 対象となる株主さま

毎年3月末時点の当行株主名簿に記載された1,000株(1単元) 以上所有される株主さま

▶ 優待制度の内容

地元香川県の特産品を中心に掲載した専用カタログから、保有株式数に応じてお好みの優待品をお選びいただけます。なお、専用カタログは毎年6月の発送を予定しております。



| 保有株式数 | 専用カタログ商品 |
|------------------|----------|
| 1,000株以上5,000株未満 | 2,500円相当 |
| 5,000株以上 | 5,000円相当 |

財務データ|当行単体

中間貸借対照表

| 科 | B | 平成28年9月中間期末 (平成28年9月30日現在) |
|-------|-------|-------------------------------|
| (資産の | 部) | |
| 現 金 預 | け 金 | 504,438 |
| コールロ | コーン | 20,830 |
| 買入金鈴 | も 債 権 | 26,015 |
| 商品有价 | 証券 | 221 |
| 金 銭 の | 信託 | 4,927 |
| 有 価 | 証券 | 1,320,601 |
| 貸出 | 金 | 2,740,791 |
| 外 国 | 為替 | 4,310 |
| その他 | 資 産 | 67,632 |
| その他 | の資産 | 67,632 |
| 有形固定 | 三資 産 | 37,725 |
| 無形固定 | E 資 産 | 3,158 |
| 前払年金 | き 費 用 | 3,803 |
| 支払承訓 | 苦見 返 | 21,997 |
| 貸 倒 引 | 当 金 | △14,681 |
| | | |

4,741,771

| | (単位:百万円) |
|---------------|-------------------------------|
| 科目 | 平成28年9月中間期末 (平成28年9月30日現在) |
| (負債の部) | |
| 預 金 | 3,965,933 |
| 譲渡性預金 | 191,560 |
| コールマネー | 13,145 |
| 債券貸借取引受入担保金 | 66,462 |
| 借 用 金 | 150,893 |
| 外 国 為 替 | 120 |
| その他負債 | 58,212 |
| 未払法人税等 | 1,690 |
| リース債務 | 271 |
| 資 産 除 去 債 務 | 182 |
| その他の負債 | 56,068 |
| 睡眠預金払戻損失引当金 | 425 |
| 偶 発 損 失 引 当 金 | 112 |
| 繰延税金負債 | 9,846 |
| 再評価に係る繰延税金負債 | 5,820 |
| 支 払 承 諾 | 21,997 |
| 負債の部合計 | 4,484,531 |
| (純資産の部) | |
| 資 本 金 | 37,322 |
| 資 本 剰 余 金 | 24,920 |
| 資 本 準 備 金 | 24,920 |
| 利 益 剰 余 金 | 152,029 |
| 利 益 準 備 金 | 12,402 |
| その他利益剰余金 | 139,627 |
| 固定資産圧縮積立金 | 273 |
| 別 途 積 立 金 | 133,161 |
| 繰 越 利 益 剰 余 金 | 6,192 |
| 自 己 株 式 | △5,924 |
| 株主資本合計 | 208,348 |
| その他有価証券評価差額金 | 45,604 |
| 繰延ヘッジ損益 | △5,760 |
| 土地再評価差額金 | 8,924 |
| 評価・換算差額等合計 | 48,768 |
| 新 株 予 約 権 | 123 |
| 純資産の部合計 | 257,240 |
| 負債及び純資産の部合計 | 4,741,771 |

中間損益計算書

| | | | | (単位:百万円 |
|----|-------|-------|------|--------------------------------------|
| | 科 | B | | 平成28年9月中間期 (平成28年4月1日~平成28年9月30日) |
| 経 | 常 | 収 | 益 | 41,284 |
| 資 | 金道 | ■ 用 ↓ | 汉 益 | 24,568 |
| | (うち負 | 貸出金利 |]息) | 16,004 |
| | (うち有価 | 証券利息配 | 3当金) | 8,323 |
| 役 | 務取 | 引等 | 収 益 | 4,741 |
| そ | の他 | 業務 | 収 益 | 9,708 |
| そ | の他 | 経 常 | 収 益 | 2,266 |
| 経 | 常 | 費 | 用 | 32,134 |
| 資 | 金割 | 建建 | 費用 | 2,695 |
| | (うち | 預 金 利 | 息) | 957 |
| 役 | 務取 | 引等 | 費用 | 1,921 |
| そ | の他 | 業務 | 費用 | 7,431 |
| 営 | 業 | 経 | 費 | 19,009 |
| そ | の他 | 経 常 | 費用 | 1,077 |
| 経 | 常 | 利 | 益 | 9,149 |
| 特 | 別 | 損 | 失 | 97 |
| 税引 | 前中 | 間純 | 利 益 | 9,051 |
| 法人 | 党、住民 | 税及び | 事業税 | 2,178 |
| 法ノ | ∖ 税 🕯 | 等調 : | 整額 | 2,057 |
| 法 | 人 税 | 等台 | 信 信 | 4,236 |
| 中 | 間 | 吨 利 | 益 | 4,815 |
| | | | | |

資産の部合計

財務データ|連結

中間連結貸借対照表

繰延税金資産

支払承諾見返

貸倒引当金

資産の部合計

| 科 | B | 平成28年9月中間期末 (平成28年9月30日現在) |
|----------|---------|-------------------------------|
| (資産 | の部) | |
| 現 金 預 | け 金 | 504,544 |
| コールローン | 及び買入手形 | 20,830 |
| 買入金 | 銭 債 権 | 26,015 |
| 商品有 | 価証券 | 221 |
| 金銭の | 信託 | 4,927 |
| 有 価 | 証 券 | 1,318,867 |
| 貸出 | 金 | 2,736,497 |
| 外 国 | 為替 | 4,310 |
| リース債権及び! | リース投資資産 | 16,724 |
| その他 | 資 産 | 70,768 |
| 有形固 | 定資産 | 42,209 |
| 無形固 | 定資産 | 4,320 |
| 退職給付に | 係る資産 | 2,880 |

1,147

21,997

△17,258

4,759,003

| | (単位:百万円) |
|---------------|-------------------------------|
| 科目 | 平成28年9月中間期末 (平成28年9月30日現在) |
| (負債の部) | |
| 預 金 | 3,959,846 |
| 譲渡性預金 | 185,560 |
| コールマネー及び売渡手形 | 13,145 |
| 債券貸借取引受入担保金 | 66,462 |
| 借 用 金 | 151,565 |
| 外 国 為 替 | 120 |
| その他負債 | 64,905 |
| 退職給付に係る負債 | 497 |
| 役員退職慰労引当金 | 36 |
| 睡眠預金払戻損失引当金 | 425 |
| 偶 発 損 失 引 当 金 | 112 |
| 繰延税金負債 | 9,474 |
| 再評価に係る繰延税金負債 | 5,820 |
| 支 払 承 諾 | 21,997 |
| 負 債 の 部 合 計 | 4,479,971 |
| (純資産の部) | |
| 資 本 金 | 37,322 |
| 資 本 剰 余 金 | 26,032 |
| 利 益 剰 余 金 | 157,283 |
| 自 己 株 式 | △5,924 |
| 株主資本合計 | 214,713 |
| その他有価証券評価差額金 | 45,669 |
| 繰延ヘッジ損益 | △5,760 |
| 土地再評価差額金 | 8,924 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △867 |
| その他の包括利益累計額合計 | 47,965 |
| 新 株 予 約 権 | 123 |
| 非 支 配 株 主 持 分 | 16,228 |
| 純資産の部合計 | 279,031 |
| 負債及び純資産の部合計 | 4,759,003 |

中間連結損益計算書

(単位:百万四)

(単位:百万円)

| | | | | (|
|------|-------|-------|-------|--------------------------------------|
| | 科 | B | | 平成28年9月中間期 (平成28年4月1日~平成28年9月30日) |
| 経 | 常 | 収 | 益 | 45,384 |
| 資 | 金 運 | 用 収 | 益 | 24,589 |
| (| うち貸 | 出金利息 | 息) | 16,049 |
| (| うち有価証 | 券利息配当 | 金) | 8,298 |
| 役 | 務取 | 引 等 収 | 益 | 5,464 |
| そ(| の他美 | 業務 収 | 益 | 9,708 |
| そ(| の他糸 | 圣 常 収 | 益 | 5,622 |
| 経 | 常 | 費 | 用 | 35,098 |
| 資 | 金 調 | 達費 | 用 | 2,526 |
| (| うち預 | 金利息 | ₹) | 956 |
| 役 | 務取 | 川 等 費 | 用 | 1,539 |
| そ(| の他美 | 業 務 費 | 用 | 7,431 |
| 営 | 業 | 経 | 費 | 19,841 |
| そ(| の他糸 | 圣常費 | 用 | 3,760 |
| 経 | 常 | 利 | 益 | 10,285 |
| 特 | 別 | 利 | 益 | 22 |
| 特 | 別 | 損 | 失 | 100 |
| 税金等 | 調整前 | 中間純和 | 引益 | 10,207 |
| 法人税 | 、住民称 | 及び事業 | 業税 | 2,447 |
| 法 人 | 税等 | 調整 | 額 | 2,129 |
| 法人 | 税 | 等 合 | 計 | 4,577 |
| 中間 | り 純 | 利 | 益 | 5,630 |
| 非支配株 | 主に帰属 | する中間純 | 利益 | 503 |
| 親会社株 | 主に帰属 | する中間純 | 5,126 | |
| | | | | |

当行は、下記10社を子会社等として中間連結財務 諸表を作成しております。

日本橋不動産株式会社

百十四ビジネスサービス株式会社

株式会社百十四人材センター

百十四財田代理店株式会社

Hyakujushi Preferred Capital Cayman Limited

百十四リース株式会社

百十四総合保証株式会社

株式会社百十四ディーシーカード

株式会社百十四システムサービス

株式会社西日本ジェーシービーカード

